

【協議②】

玉名市地域公共交通計画の達成状況
について

玉名市地域公共交通計画とは

- 本市における最適で持続可能な地域公共交通体系を構築するため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第5条第1項に規定する地域公共交通のマスタープランとして令和6年3月に策定。
- 対象区域：玉名市全域
- 計画期間：令和6年度から令和10年度の5年間

計画の達成状況及び評価について

- 玉名市地域公共交通計画では、1年ごとに事業の実施状況や評価指数を整理し、計画の進捗状況と効果の検証・評価を行う。
- 評価の結果については、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第七条の二の規定により次ページのとおり国土交通大臣に報告する。

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

玉名市地域公共交通計画の評価等結果（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
1 既存の地域公共交通を基本とし、持続可能で移動ニーズに即したネットワークの形成					
路線バス及び乗合タクシーの収支率の改善 【R7年度目標】 路線バス：35.1% 乗合タクシー：13.95%	・玉名駅の利便性向上に向けた機能整備 ・近隣自治体との連携による既存バスの運行・維持・改善 ・玉名市街地循環線等の地域内交通の利便性向上に向けた再編 ・バスの利用環境の改善 ・一般タクシーの運行・維持・改善 ・乗合タクシーの運行・維持・改善 ・わかりやすい情報の発信 ・外出支援サービス及び福祉バスの継続 ・地域住民主体による新たな交通手段について支援 ・先端技術の活用に向けた研究	【路線バス】 玉名市統計データ（経常収入/経常費用）から整理する。 【乗合タクシー】 玉名市統計データ（利用料金/市の支出）から整理する。	R7年度実績 【路線バス】35.8% 利用者数の増加に伴う経常収入が増加した。 【乗合タクシー】12.4% R6年度に全てのエリアを増便し、R7年度には一部のエリアで7時便・10時便の台数を増やしたことにより、市の支出が増となった。	【路線バス】●達成 ・周知等による利用促進を図って路線を維持しつつ、利便性の向上や効率化のため適宜見直しを図る。 ・花しょうぶまつりのバス展示等で利用促進を図る。 ・R8年4月から乗継券の対象を拡大。 ・R7年10月に運賃を改定した。（R8年度以降に影響） 【乗合タクシー】●未達成 ・区の集会等で制度の周知及び利用登録の受付を行う等、利用促進を図り運賃収入を増加させる。 ・R8年4月から利用料金および市の委託料を値上げ。	
路線バス及び乗合タクシーの財政負担額の改善 【R7年度目標】 路線バス：75,907千円 乗合タクシー：42,035千円		玉名市統計データから整理する。	R7年度実績 【路線バス】60,863千円 ・R4年度以降の路線の見直しや利用者の増加等によって財政負担額は減少し、目標値を下回っている。 ・R7年度から県補助金の対象外となったことやほとんどの路線で経常経費が増加しているため、財政負担額は前年度よりも増加している。 【乗合タクシー】53,765千円 ・R7年度から県補助金の対象となった。 ・R6年度の増便やR7年度の増台により財政負担額が増加した。	【路線バス】●達成 ・周知等による利用促進を図って路線を維持しつつ、利便性の向上や効率化のため適宜見直しを図る。 ・R8年4月から乗継券の対象を拡大。 ・花しょうぶまつりのバス展示等で利用促進を図る。 【乗合タクシー】●未達成 ・R8年4月から市の委託料の値上げし、土日祝日の1便当たりの台数を減らす。 ・利用状況に応じた運行の効率化を検討する。	
玉名市地域公共交通全体の総合的な満足度		市民アンケート調査	—	—	R10年度アンケート実施時に評価を行う。
外出時に交通手段がなくて困ることがあると回答した人の割合		市民アンケート調査	—	—	R10年度アンケート実施時に評価を行う。
2 利用促進及び認知度向上を図り、未来へつなぐ地域公共交通の実現					
地域公共交通利用者数 【R7年度目標】 JR：3,090人 路線バス：515,426人 乗合タクシー：15,197人	・新玉名駅の利用促進に向けた取組の検討 ・近隣自治体との連携による既存バスの運行・維持・改善 ・玉名市街地循環線等の地域内交通の利便性向上に向けた再編 ・バスの利用環境の改善 ・高校生・大学生に対する支援 ・一般タクシーの運行・維持・改善 ・認知度向上のための説明会の実施 ・わかりやすい情報の発信 ・地域公共交通を身近に感じるための体験・機会の創出 ・市内に立地する高校・大学や商業施設等と連携した利用促進・利便性向上の取組 ・先端技術の活用に向けた研究	鉄道：JR九州公表資料から整理する。 路線バス：玉名市統計データから整理する。 乗合タクシー：玉名市統計データから整理する。	R7年度実績 【JR】-人（会議日時点では未公表） 【路線バス】529,556人 各路線によって増減はあるものの、全体的に増加した。 【乗合タクシー】21,778人 ・R6年度の増便やR7年度の増台により利便性が向上した。 ・R7.3月から各地区の集会等へ訪問して制度の周知や利用登録の受け付けを行った。	【JR】●－ ・玉名駅の利便性向上に向け、庁内担当部署と連携して検討を進めていく。 【路線バス】●達成 ・利用者は増加傾向にあり、今後も利用促進を図る。 ・バスの乗り方教室など、乗るきっかけ作りを引き続き実施する。 【乗合タクシー】●達成 利用者は増えているものの、制度の周知が十分ではないため、引き続き各地区の集会等へ訪問して制度の説明や利用登録の受け付けを行う。	
乗合タクシーの認知度		市民アンケート調査	—	—	R10年度アンケート実施時に評価を行う。
3 多様な関係者等との連携による地域公共交通の確保・支援					
他分野との連携 （R10年度までに1件以上）	・高校生・大学生の通学に対する支援 ・わかりやすい情報の発信 ・地域公共交通を身近に感じるための体験・機会の創出 ・市内に立地する高校・大学や商業施設等と連携した利用促進・利便性向上の取組 ・外出支援サービス及び福祉バスの継続 ・地域住民主体による新たな交通手段について支援 ・先端技術の活用に向けた研究	検討実績により整理する。	R7年度実績 ・観光との連携 地元商店などが所属する「高瀬裏川筋を愛する会」主催の高瀬裏川花しょうぶまつりのメインイベント日に「玉名市街地循環線バス無料の日」と「バスの乗り方教室」を実施した。	●達成 ・高瀬裏川花しょうぶまつりのメインイベント日にバスの展示やパンフレットの配布を行い、路線バスの利用促進を図る。 ・日常の利用促進を図るため、平日の「バス無料の日」を検討する。 ・定住自立圏での高校生の通学支援について検討する。	
新たな移動手段の導入可能性の検討 （R10年度までに1地域以上）		検討実績により整理する。	R7年度実績 ・市中心部 都市整備課においてシェアサイクルの導入を検討した。R7年度は実証実験の具体的内容やエリア設定を関係部署と協議した。	●達成 ・都市整備課において回遊性向上のために、シェアサイクルの実証実験を契約締結し、具体的な構想や協議を実施。 ・R8年度に実証実験を行い、モビリティハブ（乗り継ぎ拠点）の整備検討のために有用なデータ取得を実施する。	

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。